

The Study Group
on the Improvement
of HIV Testing
and Counseling Services
in Japan.

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業

HIV検査相談機会の拡大と 質的充実に関する研究

平成19年度研究報告書



主任研究者
今井光信
(神奈川県衛生研究所)

大阪府における公的 HIV 検査の現状解析、STI 関連診療所における検査相談と疫学調査、日曜日常設即日検査所における PA 法併用の効果

分担研究者 川畑拓也（大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課）
研究協力者 森 治代、小島洋子（大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課）
大國 剛（大國診療所）、早川謙一（早川クリニック）、
木村博子（木村クリニック）、谷口幸一（野村クリニック）、
岩佐 厚（岩佐クリニック）、谷口 恭（すてらめいとクリニック）、
矢川幸子、川添昌之（HIVと人権・情報センター）

研究概要

2007年に大阪府内の保健所等公的検査機関でHIV検査を受検した人数は17,609名で、2006年の14,410名に比べ22.2%増加した。しかし陽性者数は94名と、前年の98名からやや減少した。当所における確認検査陽性数も98件から89件へやや減少した。保健所と平日夜間・土日検査所の受検者数等を比較することで、大阪地域では平日夜間・土日の常設検査所が不足していることが示唆された。繁華街に隣接したSTI関連診療所を定点として、HIV感染に対してリスクが高いと思われる受診者におけるHIV感染のモニタリングを1992年より継続しているが、2007年には合計2,177件の検査を行い、抗体陽性例は21件であった。HIV抗体陰性の検体1,946件についてNATを行ったところ、抗原のみ陽性である真のウィンドウ期の検体が3件見つかった。これら24件のHIV陽性例の内訳は、日本人男性22件、日本人女性1件、外国人男性1件であった。アメ村サンサンサイトJHCクリニック（日曜日常設即日検査所）においてIC法陽性検体に追加検査としてPA法を実施したところ、偽陽性率が0.32%から0.10%に低下した。

目的

大阪府内の公的検査体制における今年度の傾向を示すために解析を行った。

また、保健所に比べて受検者のニーズの高い平日夜間・土日の検査所の充足度を評価するために、保健所と平日夜間・土日検査所における検査キャンペーン期（6月、7月、12月）と通常期の受検者数を比較した。

さらに、性感染症に関して感染の機会が多い性行動を取るとされる人々におけるHIV感染の状況を把握するには、保健所や検査所におけるデータのみでは不十分であると考えられることから、我々は1992年より大阪地域のSTI関連診療所を定点として受診者における

HIV感染のモニタリングを継続しており、その結果の解析を行った。

また、アメ村サンサンサイトJHCクリニック（日曜日常設即日検査所）における3年間の活動を総括し、追加検査にPA法を用いた場合の偽陽性率の低下について検証した。

方法

STI関連診療所における疫学調査

大阪府内の繁華街に位置するSTI関連診療所（皮膚科、性病科、泌尿器科、婦人科）の医師の協力を得て、受診者の中でHIV感染について感染の機会が多い性行動を取っていると思われる人にHIV検査を勧めて本人の承諾

を得、採血後次のような検査を実施した。

HIV 抗体検査については、スクリーニング検査として PA 法(ジェネディア HIV-1/2 ミックス PA)を用い、陽性反応が示された場合は、PA 法(セロディア・HIV-1/2)、抗原抗体検出 EIA 法(バイダスアッセイキット HIV デュオ II)、ウエスタンブロット法(ラブブロット 1 およびラブブロット 2)、イムブロット法(ペプチラブ 1,2)などの中から適当な方法を採用した。

HIV スクリーニング検査において陰性を示した検体については、核酸増幅検査(NAT)または RT-PCR 法を行った。NAT はアンプリコア HIV-1 モニターを用いて行った。

HIV 感染者の血清から Isogen LS (NIPPON GENE) を用いて RNA を抽出後、RT-PCR を行い、env- C2V3 領域を増幅させた。増幅産物を BigDye Terminator v1.1 Cycle Sequencing Kit (Applied Biosystems) を用いて、ダイレクトシーケンス法により塩基配列を分析した。DNASIS を用いて env-C2V3 領域のアミノ酸配列を推定した。得られた塩基配列は CLUSTAL W を用いて HIV-1 各遺伝子型の標準株塩基配列を用い、多重整列を行った後、phyllip 近隣結合法により系統樹を作成した。

結果

1. 公的機関における HIV 検査

大阪府における 2007 年の公的 HIV 検査数の合計は 17,609 件で、2006 年の 14,410 件に比べ 22.2%増加した。検査数の増加は、市保健センターと府保健所の検査数の増加によるところが大きかった。(図 1)

2007 年の公的 HIV 検査における HIV 陽性者数は 94 名で、2006 年の 98 名からやや減少した。全体の陽性率も 0.68%から 0.53%へ減少した。陽性数が増加した機関は市保健センターと府保健所で、減少した機関は平日(木曜日)夜間検査所、土曜日検査所、日曜日即日検査所であった。(図 2)

HIV 陽性が多くみられた主要な検査所における過去 5 年間の陽性数と陽性率の推移を比較した。棒グラフで示した陽性数は上昇傾向が頭打ちし、また、陽性率に関しては、大阪府の保健所においては若干増加傾向にあるものの、大阪市の保健センターにおいては横ばい、平日夜間・土日検査所ではこれまで上昇傾向にあった陽性率が 2006~2007 年に減少に転じたことが明らかとなった。(図 3)

2007 年の HIV 検査普及週間(6 月 1 日から 6 月 7 日)を含む 6 月と、大阪府が大規模イベント検査を行った 7 月、世界エイズデー(12 月 1 日)の啓発活動が行われた 12 月の 3 つの月(キャンペーン期)と、その他の月(通常期)におけるイベント検査分を除いた、ひと月あたりの検査数・陽性数と陽性率を、保健所(大阪府 14 ケ所、大阪市 24 ケ所、合計 38 ケ所)と平日夜間・土日検査所(各 1 ケ所、合計 3 ケ所)との間で比較した。

その結果、キャンペーン期において保健所は検査数が通常期の約 1.6 倍に増加しているが、平日夜間・土日検査所は検査数がほとんど増加していないことが分った。(図 4)

また陽性数は、保健所ではキャンペーン期は通常期の約 1.4 倍に増加したが、平日夜間・土日検査所ではキャンペーン期の方が若干少なかった。(図 5)

通常期とキャンペーン期の陽性率を比較すると、保健所においてはほとんど差が見られないが、平日夜間・土日検査所では通常期に比べキャンペーン期の方が陽性率は減少している事が明らかとなった。(図 6)

2. STI 関連診療所における疫学調査

2007 年の STI 診療所における HIV 検査数は男性 1,425 人、女性 745 人、性別不明 1 人の合計 2,177 人であった。この内、男性 23 人、女性 1 人の計 24 人が HIV 陽性であり、男性の陽性率は 1.6%、女性の陽性率は 0.13%であった。(表 1)

図7に調査開始時（1992年）から2007年までの陽性件数の年次推移を国籍別・性別のグラフで示した。調査開始当初見られた外国人女性の陽性者は1999年を最後に見つかっていない。これに対し、本調査においては1994年に初めて見つかった日本人男性の陽性者は、ここ数年増加傾向であることが伺える。

本調査において、HIV抗体検査が陰性であった全ての検体についてNAT（核酸増幅検査）を実施し、感染直後で抗体が陽性になる前のHIV遺伝子のみ陽性の感染者を見逃さないよう努めている。NATは2000年より導入し、2007年までの8年間で約2万検体の検査を行ったが、これまでに4例の抗体陰性・遺伝子陽性例を見出した。（表2）この4例中3例が2007年に見つかった。

3. 日曜日常設即日検査所におけるPA法併用の効果

大阪における唯一の公的常設即日検査所であるアメ村サンサンサイト JHC クリニック（2008年3月末、なんばサンサンサイト JHCとして「chot CAST なんば（大阪 HIV 検査相談・啓発・支援センター）」内に移転予定）は2004年夏にオープンし、2006年度末までに4,051人（男性2,873人、女性1,158人）についてイムノクロマト法（IC法）によるHIV抗体検査を行い、IC法陽性の検体に関してはPA法による追加検査を行った。（IC法、PA法共に陽性の検体は、当所にて確認検査を行った。）この間、抗体陽性者は男性30人、女性2人の合計32人であり、陽性率は男性1.1%、女性0.17%であった。受検者の年齢構成は、20歳代が約6割、30歳代が約3割、10歳代と40歳以上が残り約1割を占めていた。（データは示さず）

オープンから2006年度末までの間に、IC法による陽性数は45例であり、その内36例がPA法による追加検査でも陽性であり、確認

検査の結果32例が真のHIV抗体陽性であった。偽陽性率は、IC法の場合のみ0.32%（13/4019×100）であるが、PA法を追加検査として併用した結果0.10%（4/4019×100）にまで低下した。（図8）

考察

大阪府内の公的検査機関においては、受検者のニーズが高い平日夜間、土曜日、日曜日の検査所がそれぞれ1ヶ所しか無く、それら3ヶ所の検査数と比較して、大阪府と大阪市の保健所（府14、市24、合計38ヶ所）の検査数はそれほど多いとは言えない。その原因には、保健所では平日の昼前あるいは午後早くに数時間しか受け付けていないことや、一週間後以降の結果返しであるため平日に2回保健所を訪れなければならないこと、あるいはいくつかの保健所は交通の便が悪い場所に有ることや、他の用で来所する住民の目になり受検希望者が保健所を訪れにくいといった理由が考えられる。（大阪市は平成20年4月より、受検者が比較的多く交通の便の良い保健所4ヶ所にHIV検査を集約し、受付曜日を増やすことで検査数の増加を図る予定だが、他の保健所でのHIV検査を取りやめることによる影響も含め、検査数の動向を見守りたい。）

こうした状況にもかかわらず、昨年府と市の保健所での検査数が大幅に増加した（図1）原因として、市がエイズ対策基本指針（「STOPエイズ」作戦5年計画（2007-2011年））を立て、それに沿って大規模な夜間検査キャンペーンを行ったことと、エイズ予防のための戦略研究課題2（研究リーダー：木原正博）における啓発キャンペーンが12月の世界エイズデーに合わせて大阪で行われたことが大きく影響していると考えられる。しかしながら、これらキャンペーンにもかかわらず、受検者のニーズが高い平日夜間、土曜日、日曜日の検査所の受検者数はそれほど増加せず、

また陽性数・陽性率ともに減少した。そこでその原因を突き止めるために、保健所と平日夜間・土・日検査所それぞれにおける、キャンペーン期と通常期の検査数、陽性数、陽性率を比較した。(図4、5、6)

キャンペーン期において、保健所では検査数が通常期の約1.6倍に増加していたが、これは保健所が府市合わせると38ヶ所と数が多く、受け入れ可能人数(キャパシティー)にも余裕があるからだと考えられる。これに対し、平日夜間・土日検査所ではキャンペーン期においても検査数はほとんど増加しておらず、その原因として、平日夜間・土日検査所はそれぞれ1ヶ所と数も少なく、毎回受検者がほぼキャパシティーの上限に達していることが多いことから、キャンペーンを行っても増加した検査希望者を受け入れきれない状況に有ることが示唆された。

さらに、陽性数・陽性率の比較結果より、キャンペーンによって受検希望者が一次的に急増しても、キャパシティーに余裕がある保健所では受け入れが出来ており、陽性数は受検者数の増加に伴い増加し、陽性率にも特に変化はないが、恒常的に受検者で一杯な平日夜間と土日の検査所は、検査キャンペーン等を行っても受検者が増える余地がほとんど無く、またキャンペーンによるリスクの比較的低い受検希望者の一時的な増加により、リスクの高い受検希望者が受検しにくくなり、あるいはその時の全受検希望者中の陽性率が一時的に低下し、その結果陽性率が低下する状況が示唆された。こうした状況を受け、大規模な受検促進キャンペーンを問題視する意見も一部にはあるが、受検者のニーズの高い平日夜間・土日の検査所の充足度が低い状況を解消するためには、HIV検査受検促進キャンペーンを縮小するのではなく、平日夜間、土日検査所のキャパシティーを増加させることによって解消することが望ましく、したがって大阪府内、特に交通の便がよい場所に平日

夜間・土曜日・日曜日の無料匿名検査所を新規設置する、あるいは既存の施設を拡充する必要性が非常に高いと考えられる。

STI 関連診療所における疫学調査における HIV 陽性者数は、増減を繰り返しつつも増加傾向にあると言える。(図7)特に抗体陰性・遺伝子陽性である感染初期例複数例の発見(表2)は、大阪地区において HIV 感染が引き続き拡大している有力な証拠の一つであると考えられ、HIV 検査における最近の陽性数の増加は過去の感染の掘り起こしの結果であるとして楽観視する事が出来ないことを示唆している。また無料匿名でなく、結果通知後も受検者へアクセス可能な診療所における即日検査において、陰性であった全ての検体について NAT を実施し、HIV 遺伝子のみ陽性の感染初期例を見逃さない試みは、一度抗体検査陰性の結果を受け取った受検者に対する HIV 感染についての結果返しを可能にし、感染拡大阻止に果たす役割が非常に大きいと考えられる為、可能な限り今後も続けていきたい。

公的常設日曜即日検査所における IC 法陽性検体に対する PA 法の追加による偽陽性率の低下は、すでに大竹が当研究班の平成16年度の報告書において報告済みであるが(0.45%→0.22%)、今回例数も増え、より正確な数値(0.32%→0.10%)を報告できたと考える。

発表

論文発表

1.Yoko Kojima, Takuya Kawahata, Haruyo Mori, Isao Oishi and Toru Otake, Recent diversity of human immunodeficiency virus type 1 in individuals who visited sexually transmitted infection-related clinics in Osaka, Japan, Journal of Infection and Chemotherapy, Volume 14, Number 1, 51-55, 2008

2. 川畑拓也、小島洋子、森 治代、大竹 徹、
大國 剛、当所にてH I V感染を確認した、
2例のイムノクロマトグラフィー法陰性の感
染初期例、感染症学雑誌、81(1)、76-77、2007

学会発表

1. 矢川幸子、川畑拓也、中瀬克己、東 政美、
伊藤麻里子、尾澤るみ子、川添昌之、桜井健
司、塩入康史、前田智児、石神 互、アメ村
サンサンサイト JHC クリニックにおける日曜
即日 HIV抗体検査・相談事業の3年間の報告、
第 21 回日本エイズ学会学術集会、広島、2007
年

2. 川畑拓也、下内 昭、大國 剛、大阪府内
の STI 関連医療機関における HIV 検査の現状、
第 21 回日本エイズ学会学術集会、広島、2007
年

3. 小島洋子、川畑拓也、森 治代、大國 剛、
大阪近隣の未治療新規感染者における薬剤耐
性 HIV-1 の伝播状況、第 21 回日本エイズ学会
学術集会、広島、2007 年

4. 森 治代、小島洋子、川畑拓也、大國 剛、
プライマーにより異なるサブタイプおよび薬
剤耐性変異が検出された HIV-1 重感染例、第
21 回日本エイズ学会学術集会、広島、2007
年

図1 大阪府内の公的HIV検査・検査数

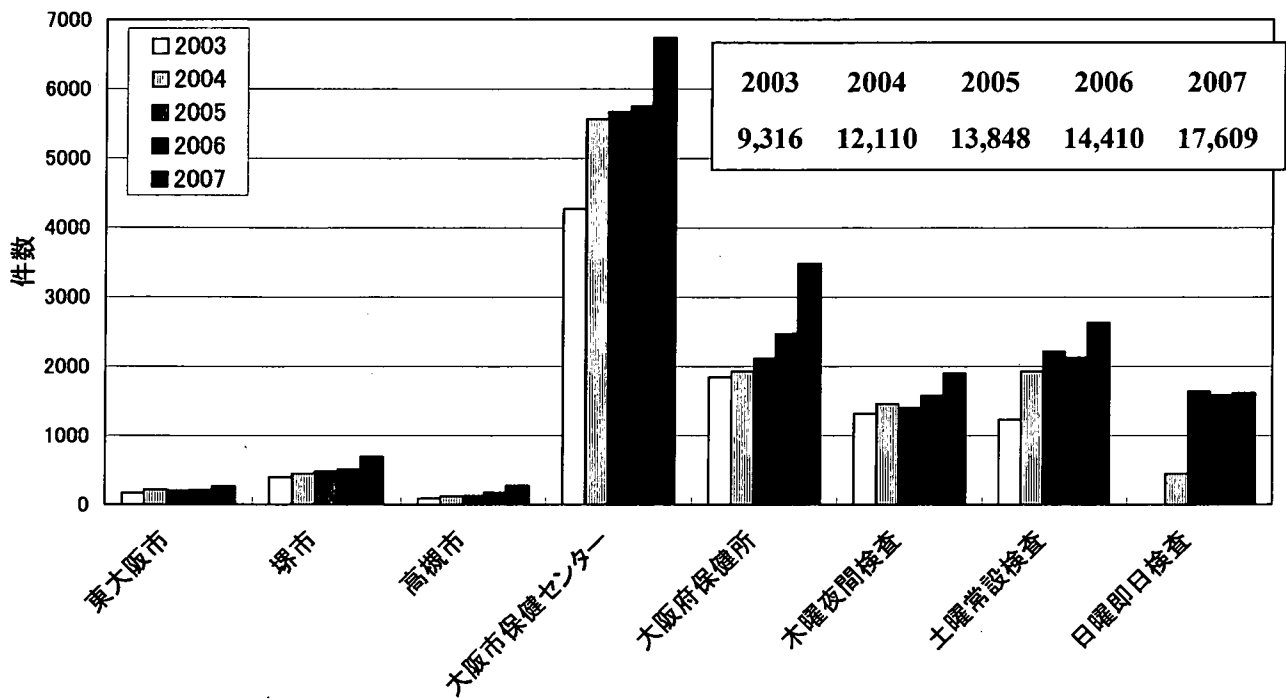


図2 大阪府内の公的HIV検査・陽性数

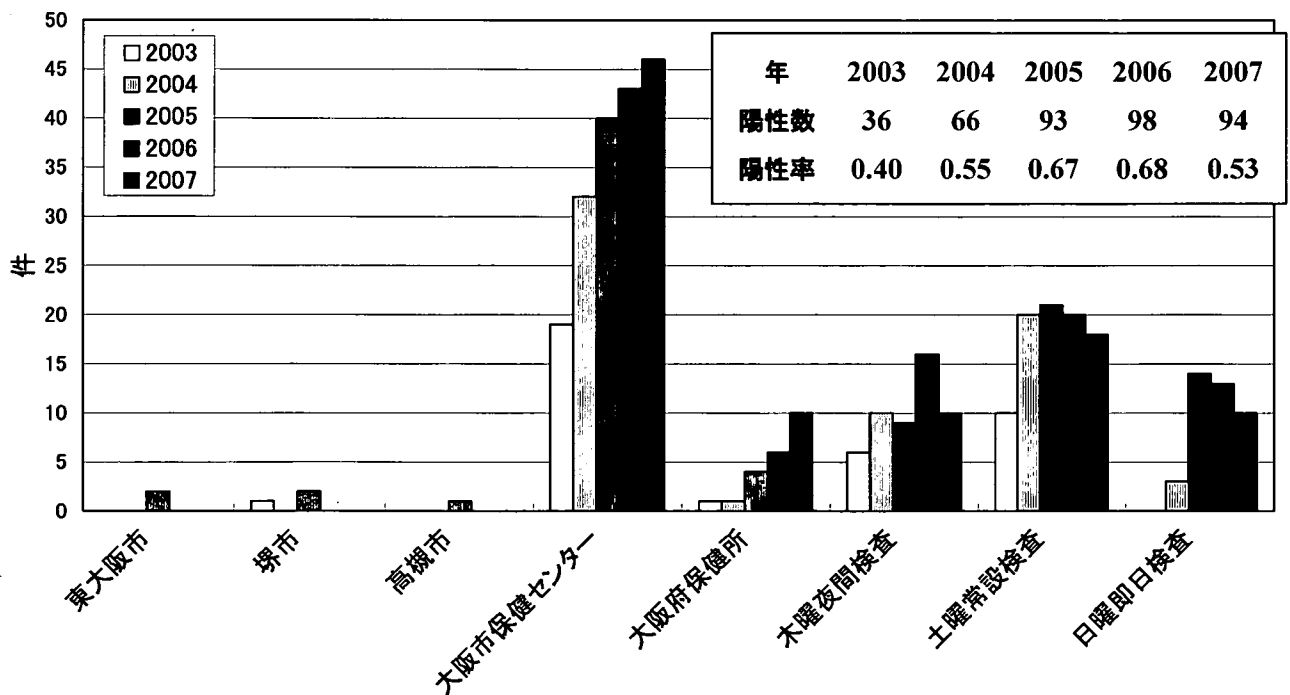


図3 主要公的検査所における陽性率の年次推移

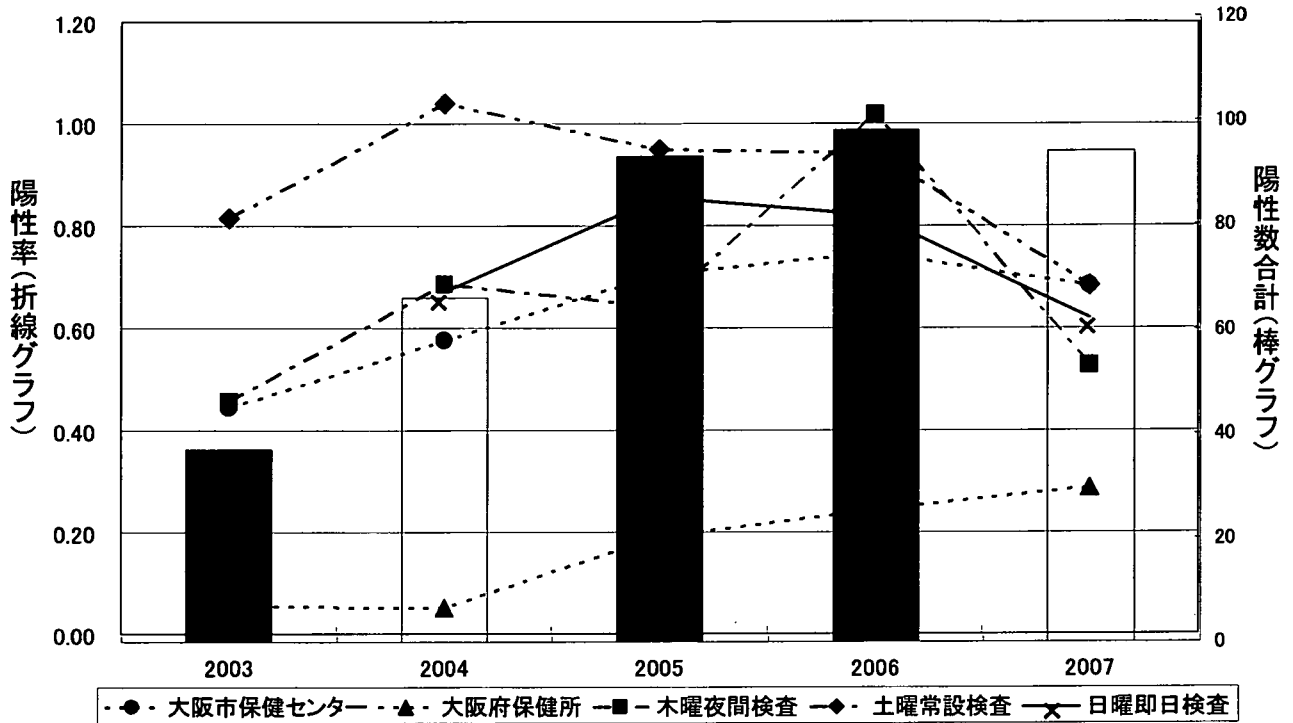


図4 通常期とキャンペーン期(6,7,12月)における、1ヶ月あたりの検査数の比較

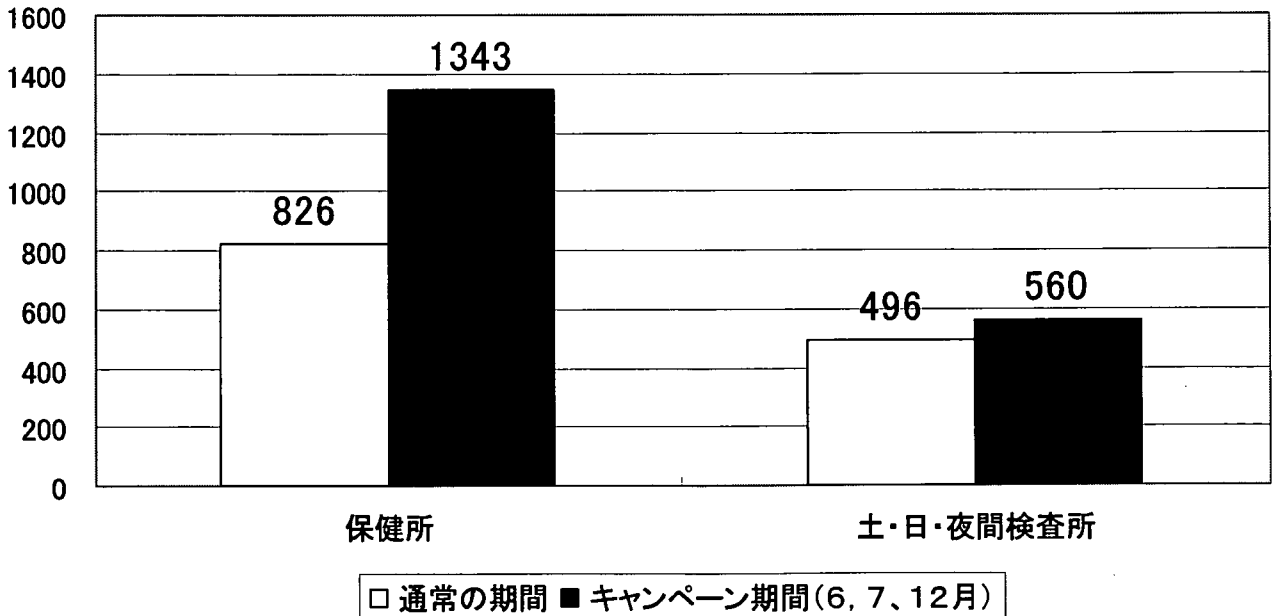


図5 通常期とキャンペーン期(6,7,12月)における、
1ヶ月あたりの陽性数の比較

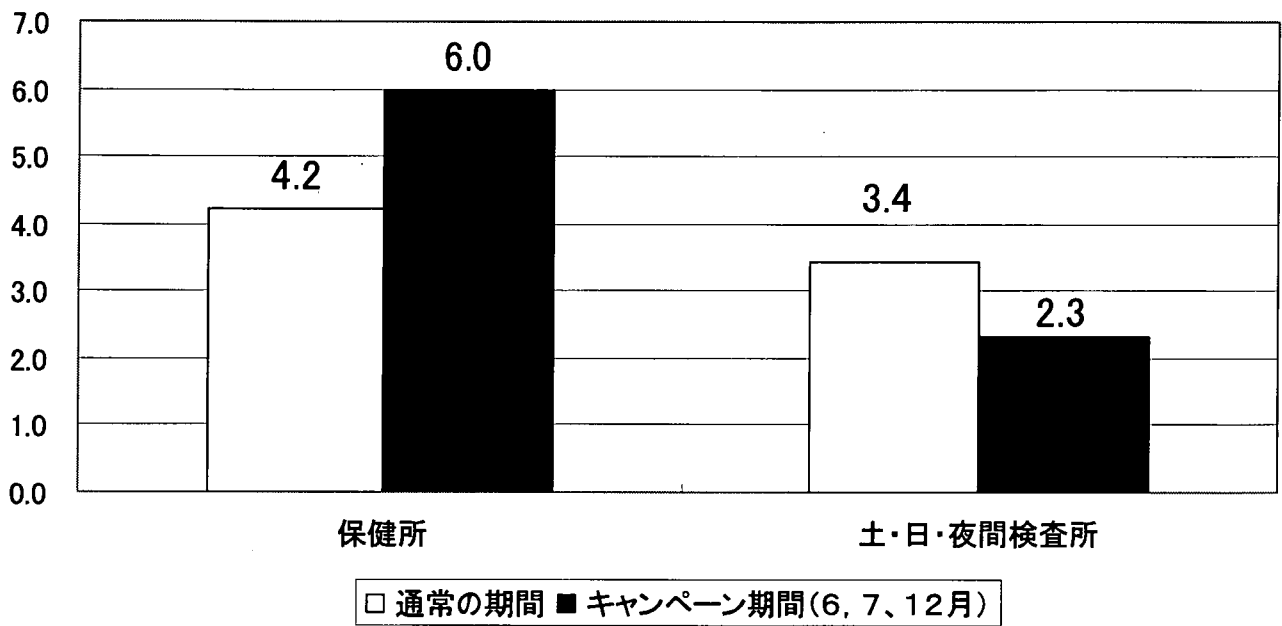


図6 通常期とキャンペーン期(6,7,12月)における、
陽性率の比較

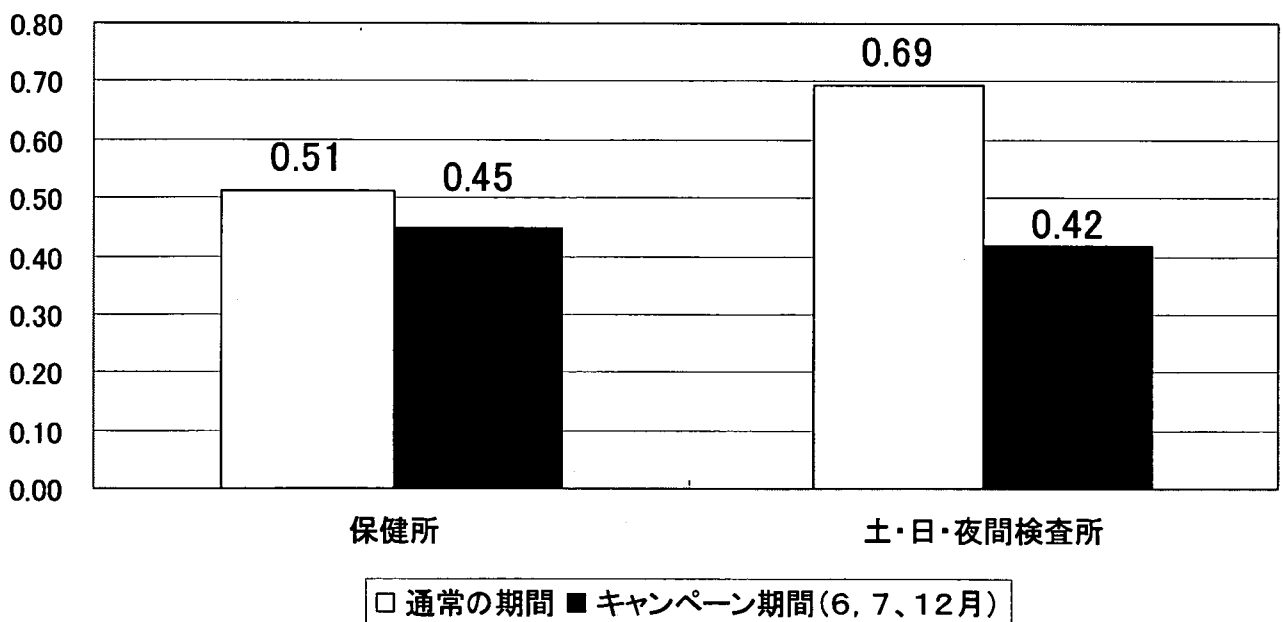


表 1 診療所別検査数

診療所	性別			合計
	男性	女性	不明	
A	417 (11)	76	0	493 (11)
B	63 (1)	4	0	67 (1)
C	0	3	1	4
D	942 (11)	417 (1)	0	1,359 (12)
E	3	41	0	44
F	6	204	0	210
合計	1,431 (23)	745 (1)	1	2,177 (24)

()内は陽性数

図 7 HIV疫学調査における陽性件数の年次推移

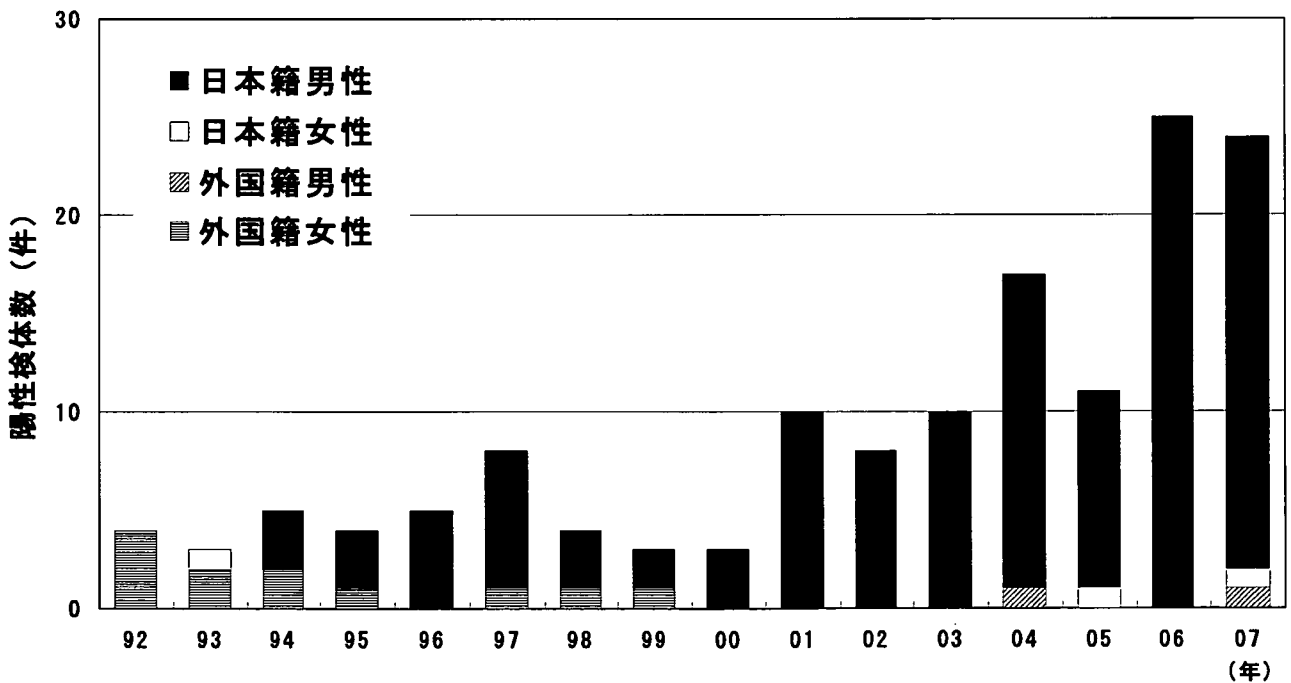
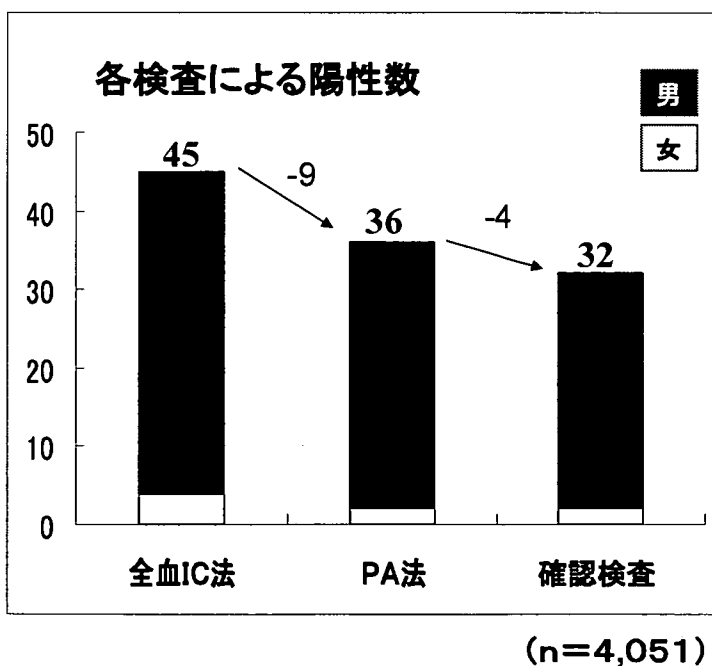


表2 NAT件数

年	診療所						計
	A	B	C	D	E	F	
2000	-	13	-	123	4	-	140
2001	-	85	33	1,649	30	-	1,797
2002	-	73	8	2,966	18	-	3,065
2003	-	49	3	3,226	28	-	3,307
2004	-	62	7	3,660	41	-	3,770
2005	-	53	7	3,058	37	-	3,155
2006	-	42	11	2,901 (1)	27	-	2,981 (1)
2007	484 (2)	66	4	1,348 (1)	44	-	1,946 (3)
合計	484 (2)	443	73	18,931 (2)	229	-	20,161 (4)

2000年12月より2007年末まで。()内は陽性数

図8 PA法の併用による偽陽性率の低下



	全血IC法	PA法	陽性数
男	41	34	30
女	4	2	2
計	45	36	32

偽陽性率

IC法のみ: $13/4019 \times 100 = 0.32\%$



PA法併用: $4/4019 \times 100 = 0.10\%$

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業

HIV 検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究

平成19年度 研究報告書

主任研究者

今井光信

(神奈川県衛生研究所)

厚生労働科学研究費補助金 HIV検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究班 班員名簿(分担研究者) 平成19年度

班員名	所属	職名	〒	住所	電話(内線)	FAX	Eメール
今井 光信	神奈川県衛生研究所	所長	253-0087	茅ヶ崎市下町屋1-3-1	0467-83-4400	0467-83-4457	imaim@d2.dion.ne.jp
加藤 真吾	慶應義塾大学 医学部 微生物学・免疫学教室	助教	160-8582	新宿区信濃町35	03-3353-1211 (2695)	03-5360-1508	skato@sc.itc.keio.ac.jp
川畑 拓也	大阪府立公衆衛生研究所 感染症部ウイルス課	主任研究員	537-0025	大阪市東成区中道1-3-69	06-6972-1321 (375)	06-6972-2393	kawahata@ph.pref.osaka.jp
木村 和子	金沢大学医薬保健研究域薬学系 国際保健薬学研究室	教授	920-1192	金沢市角間町 自然科学本館	076-234-4402	076-234-4402	kimurak@p.kanazawa-u.ac.jp
小島 弘敬	東京都南新宿検査・相談室	室長	151-0053	渋谷区代々木2-7-8 東京南新宿ビルディング3F	03-3377-8122	03-3377-0821	hiv-test@aurora.ocn.ne.jp
佐野 貴子	神奈川県衛生研究所 微生物部	主任研究員	253-0087	茅ヶ崎市下町屋1-3-1	0467-83-4400	0467-83-4457	takawoo@hotmail.com
澤田 幸治	北海道立衛生研究所	所長	060-0819	札幌市北区北19条西12丁目	011-747-2766	011-736-9476	ysawada@iph.pref.hokkaido.jp
杉浦 亙	国立感染症研究所 エイズ研究センター 第2研究グループ	グループ長	208-0011	武蔵村山市学園4-7-1	042-561-0771 (240)	042-561-7746	wsugiura@nih.go.jp
立川 夏夫	横浜市立市民病院	部長	240-8555	横浜市保土ヶ谷区岡沢町56	045-331-1961	045-331-1960	ntachika@u01.gate01.com
玉城 英彦	北海道大学大学院医学研究科 国際保健医学分野	教授	060-8638	札幌市北区北15条西7丁目	011-706-5051	011-706-7374	tamashiro@med.hokudai.ac.jp
中瀬 克己	岡山市保健所	所長	700-8546	岡山市鹿田町1-1-1	086-803-1262	086-803-1758	katsumi_nakase@city.okayama.okayama.jp
日野 学	日本赤十字社 血液事業本部	副本部長	135-8521	江東区辰巳2-1-67	03-5534-7503	03-5534-3774	s-hino@bs.jrc.or.jp
松浦 基夫	特定非営利活動法人 CHARM	理事	530-0031	大阪市北区菅栄町10-19	06-6354-5901	06-6354-5902	charm@k4.dion.ne.jp matsuura-m@sakai-hospital.jp
矢永由里子	(財)エイズ予防財団 研修研究部	課長	105-0001	千代田区三崎町1-3-12 水道橋ビル5階	03-5259-1811	03-5259-1812	yanaga@jap.or.jp
吉田 靖子	東京都健康安全研究センター 微生物部ウイルス研究科	科長	169-0073	新宿区百人町3-24-1	03-3363-3231	03-3363-3263	Yasuko_Yoshida@member.metro.tokyo.jp

HIV検査相談研究班事務局 <神奈川県衛生研究所 微生物部>

〒253-0087 茅ヶ崎市下町屋1-3-1 TEL: 0467-83-4400 FAX: 0467-83-4457

事務担当(内線2210): 小林寛子 (kensahan@m10.alpha-net.ne.jp)

研究担当(内線2210): 近藤真規子 (macoco@bekkoame.ne.jp) 佐野貴子 (takawoo@hotmail.com) 須藤弘二 (phai@mail7.alpha-net.ne.jp)

経理担当(内線2015): 田村 哲 (eiken.1540@pref.kanagawa.jp)

厚生労働科学研究費補助金 HIV検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究班 班員名簿(地方衛生研究所)平成19年度

班員名	所属	職名	電話(内線)	FAX	所属	研究担当者	Eメール
澤田 幸治	北海道立衛生研究所	所長	011-747-2766	011-736-9476	生物科学部 微生物部 ウイルス科	長野秀樹	ysawada@iph.pref.hokkaido.jp nagano@iph.pref.hokkaido.jp
阿部 幸史	仙台市衛生研究所	所長	022-236-7722 022-236-7737	022-236-8601	微生物課	勝見正道	fuk005620@city.sendai.jp
原 孝	茨城県衛生研究所	部長	029-241-7601	029-243-9550	微生物部	増子京子	t.hara@pref.ibaraki.lg.jp
篠崎 邦子	千葉県衛生研究所	室長	043-266-6725	043-265-5544	ウイルス研究室	岡田峰幸 三瓶憲一	k.shnzk4@mb.pref.chiba.jp
菊池 好則	埼玉県衛生研究所	室長	048-853-5034	048-840-1041	疫学科 ウイルス担当	篠原美千代 内田和江 島田慎一	a0183437@pref.saitama.lg.jp
吉田 靖子	東京都健康安全研究センター 微生物部ウイルス研究科	科長	03-3363-3231	03-3363-3263	微生物部 ウイルス研究科	貞升健志 新開敬行 長島真美	Kenji_Sadamasu@member.metro.tokyo.jp
今井 光信	神奈川県衛生研究所	所長	0467-83-4400	0467-83-4457	微生物部	近藤真親子 佐野貴子 須藤弘二	imaim@d2.dion.ne.jp
野口 有三	横浜市衛生研究所	課長補佐	045-754-9800	045-754-2210	検査研究課	野口有三 宇宿秀三	yu00-noguchi@city.yokohama.jp
高橋 要	山梨県衛生公署研究所	所長	055-253-6721	055-253-5637	微生物部	浅川洋美 山上隆也	asakawa-thh@pref.yamanashi.lg.jp
皆川 洋子	愛知県衛生研究所	研究監兼 微生物部長	052-910-5674	052-913-3641	微生物部 エイズウイルス科	秦 真美 田中正大	hiroko_minagawa@pref.aichi.lg.jp mami_hata@pref.aichi.lg.jp
坪内 彰	福井県衛生環境研究センター	所長	0776-54-5630	0776-54-6739	保健衛生部 ウイルス・生化学研究グループ	中村雅子	nakamura.masako@fklab.fukui.fukui.jp
川畑 拓也	大阪府立公衆衛生研究所 感染症部ウイルス課	主任研究員	06-6972-1321 (375)	06-6972-2393	感染症部 ウイルス課	森 治代 小島洋子	kawahata@iph.pref.osaka.jp
吉村 幸男	兵庫県立健康環境 科学研究センター	所長	078-511-6804	078-531-7080	微生物部	近平雅嗣	Masatsugu_Chikahira@pref.hyogo.lg.jp
池田 義文	広島市衛生研究所	専門員	082-277-6998	082-277-0410	生物科学部 ウイルス担当	池田義文 阿部勝彦	y-ikeda@city.hiroshima.jp
大瀬戸 光明	愛媛県立衛生環境研究所	課長	089-931-8757	089-947-1262	微生物試験室	近藤玲子	oseto-mitsuaki@pref.ehime.jp kondo-reiko@pref.ehime.jp
千々和勝己	福岡県保健環境研究所 ウイルス課	課長	092-921-9945	092-928-1203	ウイルス課	千々和勝己 中山志幸	chijiwa@fihes.pref.fukuoka.jp

厚生労働科学研究費補助金 HIV検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究班 班員名簿(特別協力研究者) 平成19年度

班員名	所属	職名	〒	住所	電話(内線)	FAX	Eメール
高山 義浩	佐久総合病院 総合診療科	医師	384-0301	長野県佐久市臼田197	0267-82-3131	0267-82-2992	lhf-adm@umin.ac.jp
相楽 裕子	横浜国立市民病院 感染症部	部長	240-8555	横浜市保土ヶ谷区岡沢町56	045-331-1961	045-331-1960	hsagara@msf.biglobe.ne.jp
岩室 紳也	(社)地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター	センター長	102-0093	千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15F	03-5212-9152	03-5211-0515	shin.iwamura@nifty.ne.jp
伊藤 章	国際医療福祉大学病院 検査部	教授	329-2753	栃木県那須塩原市井口537-3	0287-37-2221		aito@iuhw.ac.jp
大林 民典	東京都立駒込病院 臨床検査科	部長	113-8677	文京区本駒込3-18-22	03-3823-2101	03-5814-3366	tami@cick.jp
角野 文彦	滋賀県東近江保健所	所長	527-0023	滋賀県東近江市八日市緑町8-22	0748-22-1253	0748-22-1617	
小泉 京子	江戸川保健所 保健予防課	保健師	132-8507	江戸川区中央4-24-19	03-5661-2475	03-3655-9925	kyouko-koizumi@city.edogawa.tokyo.jp
清水 茂徳	ライフ・エイズ・プロジェクト	代表	100-8691	東京中央郵便局私書箱490号	03-5685-9716	03-5685-9703	shimizu8691@lap.jp
草田 央	ライフ・エイズ・プロジェクト	スタッフ	100-8691	東京中央郵便局私書箱490号	03-5685-9716	03-5685-9703	aids@t3.rim.or.jp
堀 成美	東京都立駒込病院 感染症科 国立感染症研究所FETP	研究員	162-8640	新宿区戸山1-23-1国立感染症研究所	03-5285-1111	03-5285-1233	hnarumi@nih.go.jp
潮見 重毅	栃木県南健康福祉センター	所長	323-0811	小山市犬塚3-1-1	0285-22-0302	0285-22-8403	shiomis01@pref.tochigi.jp
伊藤麻里子	特定非営利活動法人 HIVと人権・情報センター	栄サンサイト 事務局代表	466-0833	名古屋市昭和区隼人町7-16 セントカース50-B	052-831-2290	052-831-2268	chubu@npo-jhc.com
今井 敏幸	財団法人エイズ予防財団 エイズ対策 戦略研究推進室	流動研究員	105-0001	千代田区三崎町1-3-12 水道橋ビル5階	03-5259-1811	03-5259-1812	imai@jfaf.or.jp
川添 昌之	特定非営利活動法人 HIVと人権・情報センター	理事	556-0011	大阪市浪速区難波中1-6-8 イチエイ総合ビル3階 「chot CASTなんぼ」内	06-6635-3332	06-6635-3332	jhc-support@npo-jhc.com
岳中 美江	特定非営利活動法人 CHARM エイズ予防財団	理事/流動研究員	530-0031	大阪市北区菅栄町10-19	06-6354-5901	06-6354-5902	charm@k4.dion.ne.jp
星野慎二	かながわレインボウセンター-SHIP (横浜Cruiseネットワーク)	代表	221-0834	横浜市神奈川区台町14-2 ピレア台町2F	045-306-6769	045-306-6769	shinji@y-cru.com
矢川 幸子	特定非営利活動法人 HIVと人権・情報センター	アメ村サンサイト 事務局責任者	556-0011	大阪市浪速区難波中1-6-8 イチエイ総合ビル3階 「chot CASTなんぼ」内	06-6635-3332	06-6635-3332	osaka-vct@npo-jhc.com

班員名	所属	職名	〒	住所	電話(内線)	FAX	Eメール
市川 誠一	名古屋市立大学大学院看護学研究科	教授	467-8601	名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1	052-853-8089	052-852-4641	yaichisei@yahoo.co.jp
浦尾 充子	千葉大学附属病院カウンセリング室	カウンセラー	260-0856	千葉市中央区亥鼻1-8-1	043-226-2383	043-226-2295	urao@pbh.med.kyoto-u.ac.jp
鬼塚 直樹	カリフォルニア大学サンフランシスコ校 エイズ予防研究センター	専門官	94105	50 Beale Street, Suite 1200, San Francisco, CA USA	415-597-9375	415-597-8299	nonizuka@webjapan.us
橋 とも子	国立保健医療科学院 人材育成部	地域保健人材室長	351-0197	埼玉県和光市南2-3-6	048-458-6131	048-458-6714	ttomoko@niph.go.jp
澤畑 一樹	(株)三菱化学メディエンス	主事	174-8555	板橋区志村3丁目30番1号	03-5994-2196	03-5994-2931	sawahata-o@mui.biglobe.ne.jp
鳥海 一浩	(株)エスアールエル 感染免疫部	部長	192-8535	八王子市小宮51	0426-28-4083	0426-48-4041	k-toriumi@srl-inc.co.jp

HIV即日検査協カクリニック

班員名	所属	職名	〒	住所	電話(内線)	FAX	Eメール
赤枝 恒雄	赤枝六本木診療所	院長	106-0046	港区元麻布3-1-30	03-3405-1388	03-3403-4680	spin-dr@fc4.so-net.ne.jp
井戸田 一朗	しらかば診療所	院長	162-0065	新宿区住吉町8-28 B・STEPビル2F	03-5919-3127	03-5919-3137	info@shirakaba-clinic.jp
岩澤 昌彦	岩澤クリニック	院長	060-0061	札幌市中央区南1条西16丁目 レーベンビル2F	011-613-6000	011-613-3000	iwasawa@mb.snowman.ne.jp
上村 哲	上村病院	院長	904-0021	沖縄県沖縄市胡屋1-6-2	098-938-1035	098-939-4206	
江畑 貴文	文化村通りクリニック	院長	150-0043	渋谷区道玄坂2-25-10 小田原屋ビル4F	03-5459-4070	03-3780-7702	info@bunkamura.org
大國 剛	大國診療所	院長	530-0057	大阪市北区曽根崎2-5-24 石見ビル3F	06-6312-8423	06-6312-9440	
大里 和久	大里クリニック	院長	563-0027	池田市上池田1-8-13	0727-53-2553	0727-53-2553	docosato@hotmail.com
大原 宏樹	新宿山の手クリニック	院長	160-0021	新宿区歌舞伎町2-45-1 第5ライデンビル5F	0120-156-119	050-3097-5061	ohara@yucu.jp
尾上 泰彦	宮本町中央診療所	院長	210-0004	川崎市川崎区宮本町4-1	044-211-6581	044-211-1972	onoye@dd.ij4u.or.jp
尾関 全彦	尾関皮膚泌尿器科	院長	135-0048	東京都江東区門前仲町2-6-2 幸栄ビル3階	03-3630-1241	03-3630-1241	
上村 茂仁	ウィメンズクリニック・かみむら	院長	700-0901	岡山市本町4-18 コア本町ビル3F	086-803-5338	086-803-5339	kamimura@kitty.jp

班員名	所属	職名	〒	住所	電話(内線)	FAX	Eメール
小林 米幸	小林国際クリニック	院長	242-0005	大和市西鶴間3-5-6-110	046-263-1380	046-263-0919	fwix7324@mb.infoweb.ne.jp
鷺山 和幸	さぎやま泌尿器クリニック	院長	810-0001	福岡市中央区天神1丁目3-38 天神121ビル3F	092-720-3077	092-720-3078	uro@sagiyama.net
島尾忠男	水道橋三崎町クリニック	院長	101-0061	千代田区三崎町1-3-12 水道橋ビル2F	03-5259-1821	03-5259-1823	misakichoc@jfap.or.jp
白川裕一	八重洲山の手クリニック	院長	103-0027	中央区日本橋3-4-12 フロントエア八重洲ビル4F	0120-156-119	03-5205-3688	yaesu@y-cn.jp
立山 啓悦	ひろクリニック	院長	150-0043	渋谷区道玄坂2-28-3 クラストビル4F	03-5458-1860	03-5458-1860	hiro196779@yahoo.co.jp
谷口 恭	すてらめいとクリニック	院長	530-0051	大阪市北区太融寺町4-20 すてらめいとビル4階	06-6364-4177	06-6364-4188	cyc02414@nifty.com
多和田俊保	たわだ泌尿器科	院長	460-0011	名古屋市中区大須3丁目14-43 大須第2アメ横ビル3F	052-238-3555	052-238-3536	urotawada35@lime.ocn.ne.jp
西大條文一	北新宿同仁斎メディカルクリニック	院長	169-0074	新宿区北新宿3-1-2 ルミナス新宿2F	03-3369-6030	03-3369-6029	info@dojinsai.com
西原 仁	関内マリンクリニック	院長	231-0017	横浜市中区港町2-9-4 関内幸和ビル9F	045-222-6162	045-222-6225	info@kannai-marine.com
根岸昌功	ねぎし内科診療所	院長	160-0004	新宿区四谷3-9 光明堂ビル5F	03-5369-2041	03-5359-2041	mneg2885@over.ocn.ne.jp
保科 真二	保科医院	院長	604-8032	京都市中京区西木屋町六角 下ガエル山崎町258	075-221-4775	075-221-4787	info@hoshina-iin.com
山口 眞澄	池袋山の手クリニック	院長	170-0013	東京都豊島区東池袋1-32-2 小川ビル4階	0120-156-119	03-3986-3977	ikebukuro@y-cn.jp
山中 晃	新宿東口クリニック	院長	160-0022	新宿区新宿3-17-5 カワセビル7F	03-5366-389 090-3231-4484		kouy@ff.ij4u.or.jp
吉尾 弘	吉尾産婦人科医院	院長	064-0808	札幌市中央区南8条西3丁目1-7	011-511-5564	011-513-1782	

平成 19 年 度 研 究 報 告 書

目 次

I. 総括研究報告

HIV 検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究	1
－総括研究報告（平成 19 年度）－	
今井 光信 (神奈川県衛生研究所)	

II. 分担研究報告

1. ホームページ「HIV 検査・相談マップ」を用いた HIV 検査相談機関の情報提供とメディア等の広報効果のモニタリング	57
佐野（嶋）貴子 他 (神奈川県衛生研究所)	
2. HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査(H19 年度)	62
今井 光信 他 (神奈川県衛生研究所)	
3. HIV 検査機関における即日検査の実施状況およびその効果	89
佐野（嶋）貴子 他 (神奈川県衛生研究所)	
4. 医療施設における提供者主導の HIV 検査とカウンセリング (PITC)	97
玉城 英彦 (北海道大学大学院)	
5. 医療機関における検査相談体制 ー抗体陽性者への対応ー	100
立川 夏夫 他 (国立国際医療センター)	

6. 長野県佐久地域における HIV/AIDS 発生動向と対策	103
高山 義浩 (佐久総合病院総合診療科)	
7. 特設検査相談施設の受検者についての HIV と STD との関連	111
小島 弘敬 他 (東京都南新宿検査・相談室)	
8. HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査	119
須藤 弘二 他 (神奈川県衛生研究所)	
9. HIV 自己検査キットの実態調査	128
木村 和子 他 (金沢大学大学院)	
10. 血液を用いない検査法（唾液検査）による HIV 検査相談機会の拡大の可能性に関する検討	138
佐野（嶋）貴子 他 (神奈川県衛生研究所)	
11. 日赤における HIV 対策と検査相談との連携	144
日野 学 他 (日本赤十字社)	
12. 「かながわレインボーセンターSHIP」における STD 検査	150
星野 慎二 他 (かながわレインボーセンターSHIP／横浜 Cruise ネットワーク)	
13. 保健所における検査相談体制に関する研究	157
中瀬 克己 他 (岡山市保健所)	
14. NPO による HIV 検査相談体制と研修体制	168
松浦 基夫 他 (特定非営利活動法人 CHARM)	
15. 検査・相談 担当者対象の研修ガイドライン	172
矢永 由里子 他 ((財)エイズ予防財団)	

16. 北海道における HIV 即日検査の結果と感染状況	178
澤田 幸治 他 (北海道立衛生研究所)	
17. 東京都の HIV 検査体制と検査結果の解析	184
吉田 靖子 他 (東京都健康安全研究センター)	
18. 埼玉県保健所と衛生研究所における HIV 検査実施状況	192
菊池 好則 他 (埼玉県衛生研究所)	
19. 愛知県における HIV 検査結果の解析	199
皆川 洋子 他 (愛知県衛生研究所)	
20. 福岡県の HIV 検査体制と検査結果の解析	203
千々和 勝己 他 (福岡県保健環境研究所)	
21. ろ紙を用いたドライスポット法による HIV 検査法の検討	208
宮崎 裕美 他 (神奈川県衛生研究所)	
22. HIV-1 RNA 定量キットのコントロールサーベイ	214
加藤 真吾 他 (慶應義塾大学)	
23. HIV 検査技術の技術研修と普及	221
杉浦 互 (国立感染症研究所)	

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表	229
----------------------	-----